

第4回 公共交通を考えるワークショップ

アンケート調査結果（速報版）

【深沢区域】

深沢区域においては、平成30年12月14日～12月25日の期間において、全32世帯を対象にアンケート調査を実施しました。このアンケート調査結果（速報版）では、平成31年1月15日までに回収した調査票を対象に集計した結果をお示ししています。

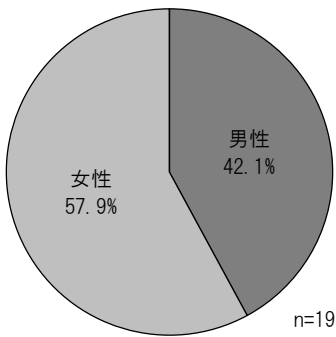
自由意見を含めた最終的な結果については、今後市ホームページにて公表する予定です。

配布数：32 回収数：19 回収率：59.4%（1月15日現在）

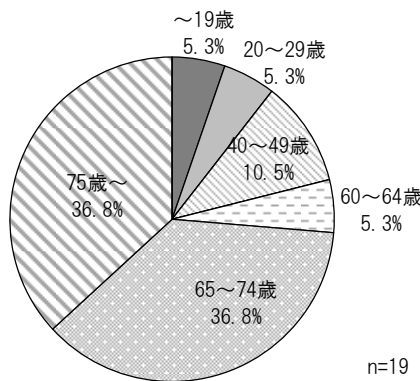
※ 端数処理により、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

回答者属性

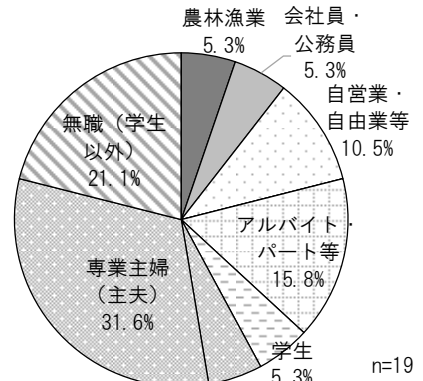
問1 性別



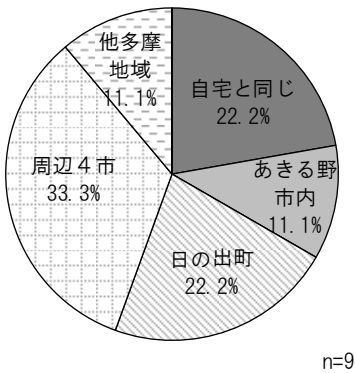
問2 年齢



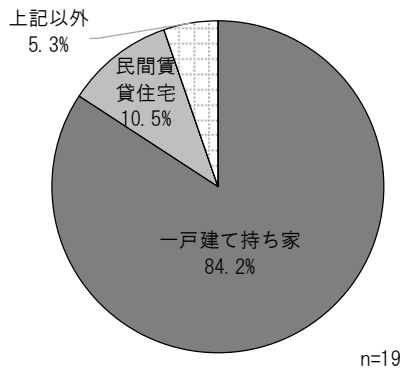
問3 職業



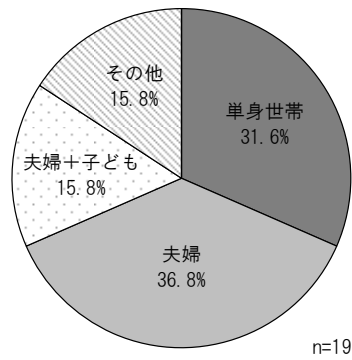
問3-1 通勤・通学場所



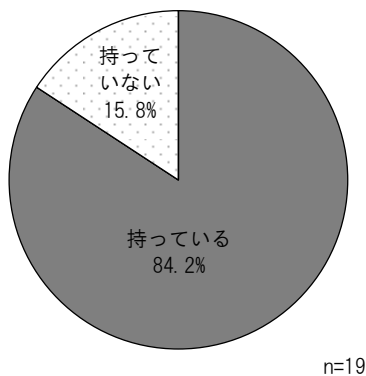
問4 住宅の種類



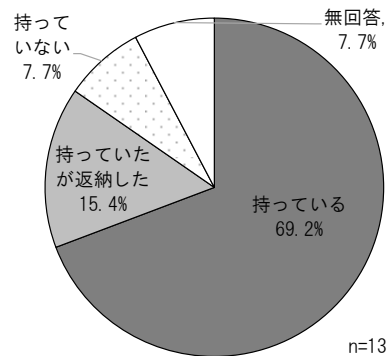
問5 世帯構成



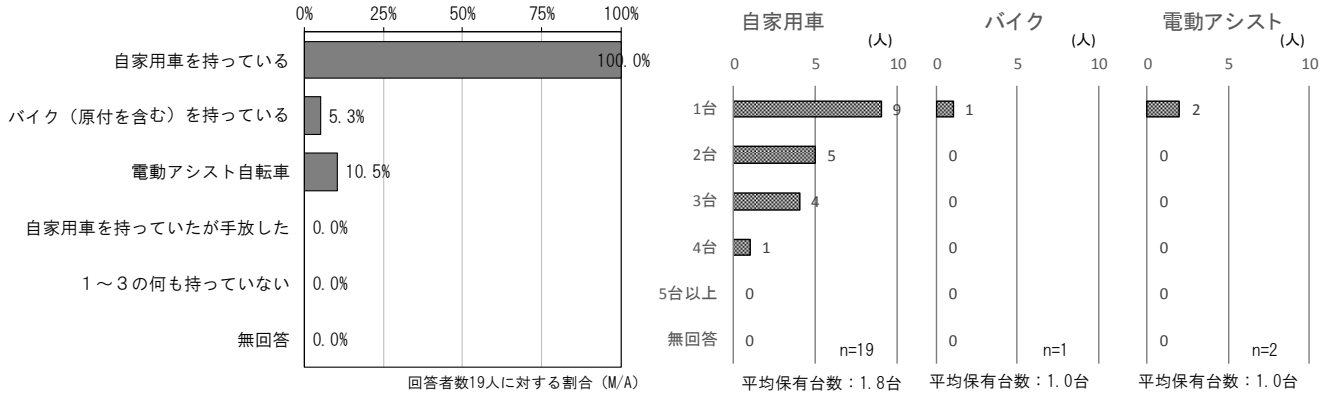
問6 回答者ご本人の運転免許保有有無



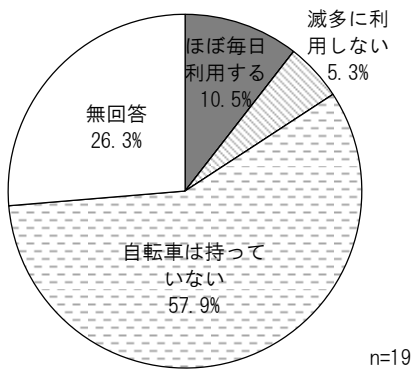
問7 同居されているご家族の運転免許保有有無



### 問8 自家用車等保有状況



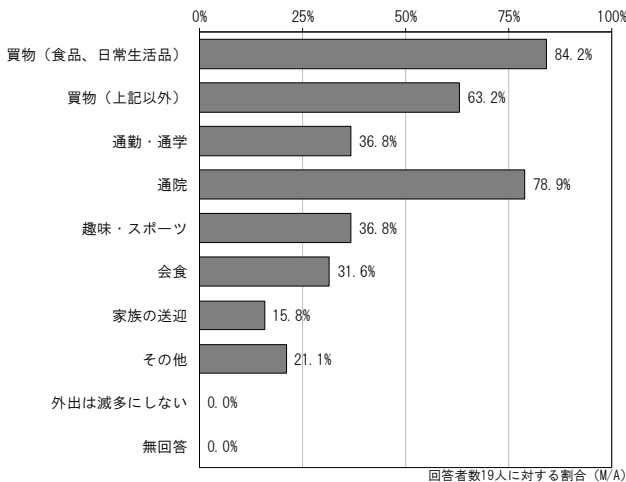
### 問9 自転車の利用状況



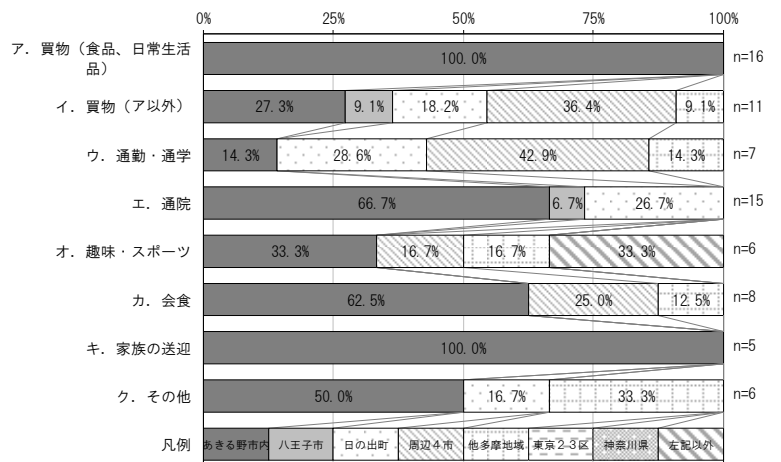
### 日常の外出について

- ・外出目的では「買物（食品、日用品）」が84.2%で最も多く、次いで「通院」78.9%、「買物（上記以外）」63.2%が多い。
- ・外出の目的地では、「買物（食品、日用品）」「通院」「会食」「家族の送迎」はあきる野市内が最も多く、「買物（食品、日用品）」「家族の送迎」では100%となっている。
- ・「買物（ア以外）」や「通勤・通学」では、市内よりも周辺4市（昭島市・福生市・羽村市・青梅市）や日の出町の占める割合が高い。
- ・いずれの外出目的においても、主たる交通手段は「自家用車（自分で運転）」である。
- ・「買物（食品、日用品）」については、6割以上の人が週2～3日かそれ以上の頻度で外出している。

### 問10 普段外出する目的

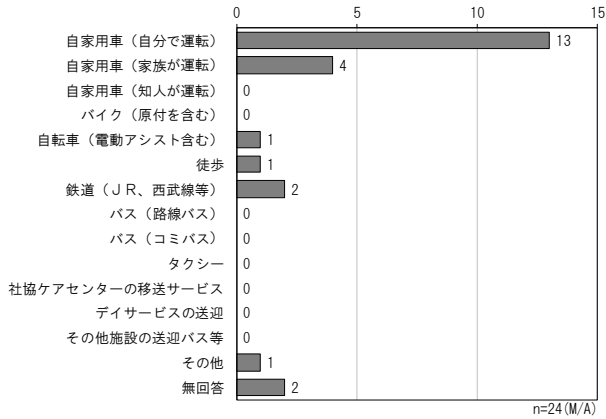


### 問10-1A 外出の目的地

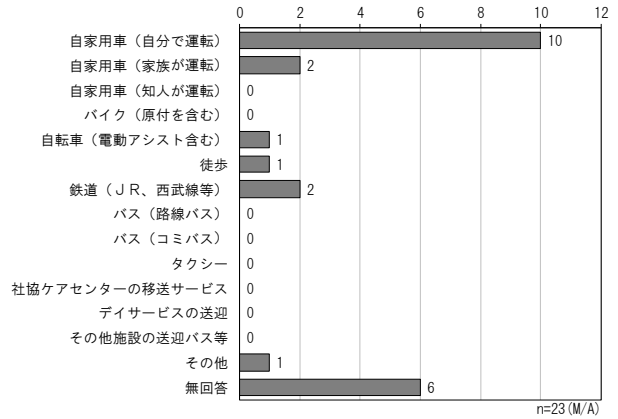


# 問10-B 外出時の利用交通手段

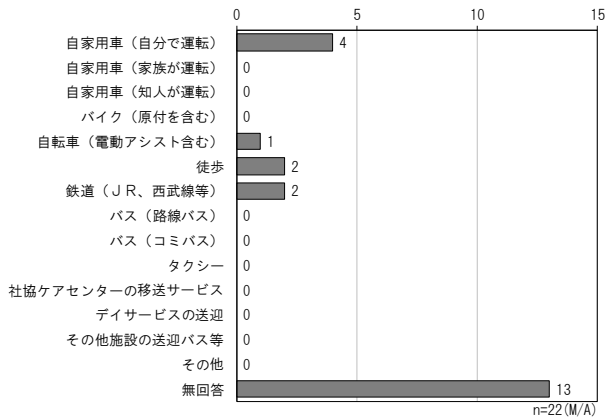
ア. 買物（食品、日常生活品）



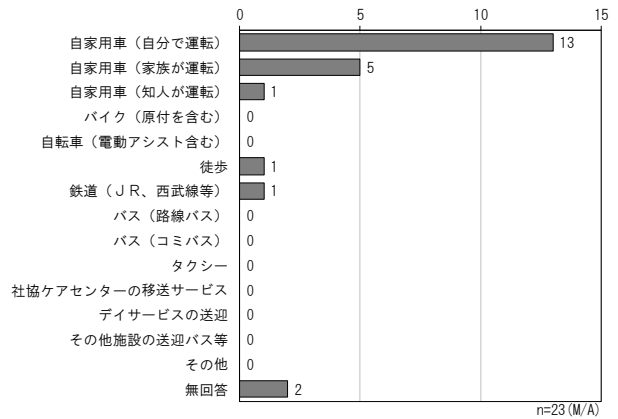
イ. 買物（ア以外）



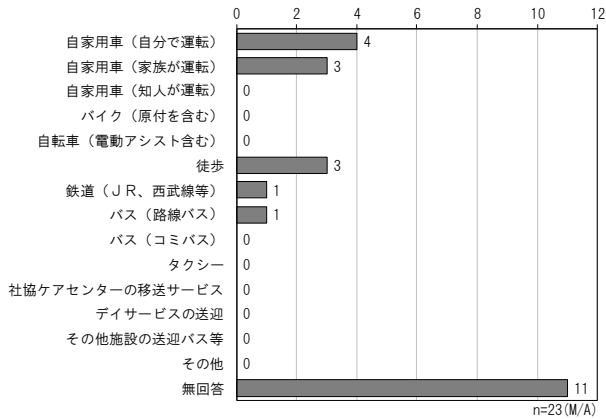
ウ. 通勤・通学



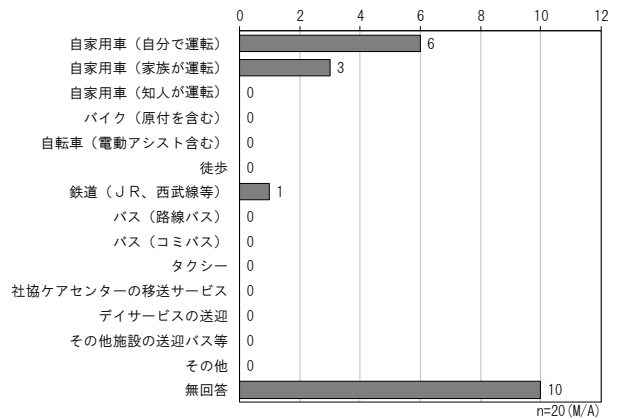
エ. 通院



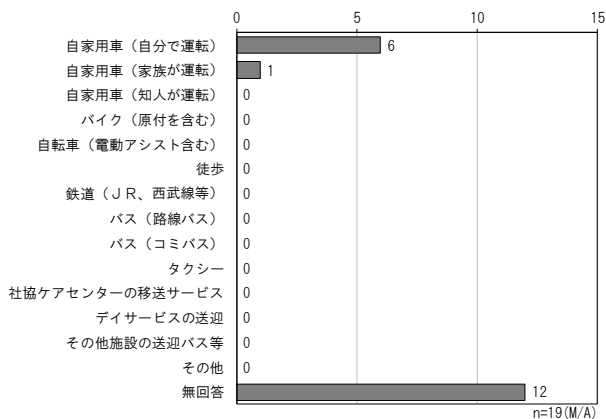
オ. 趣味・スポーツ



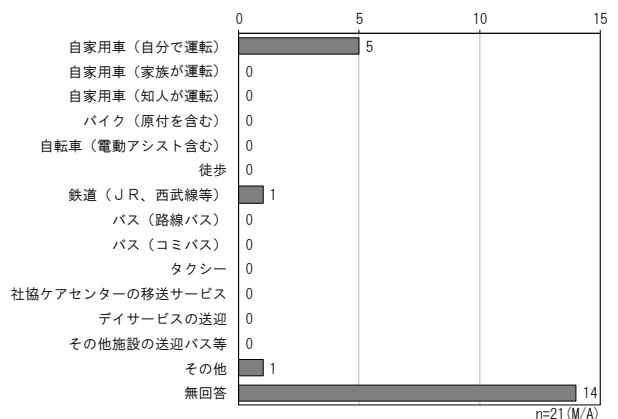
カ. 会食



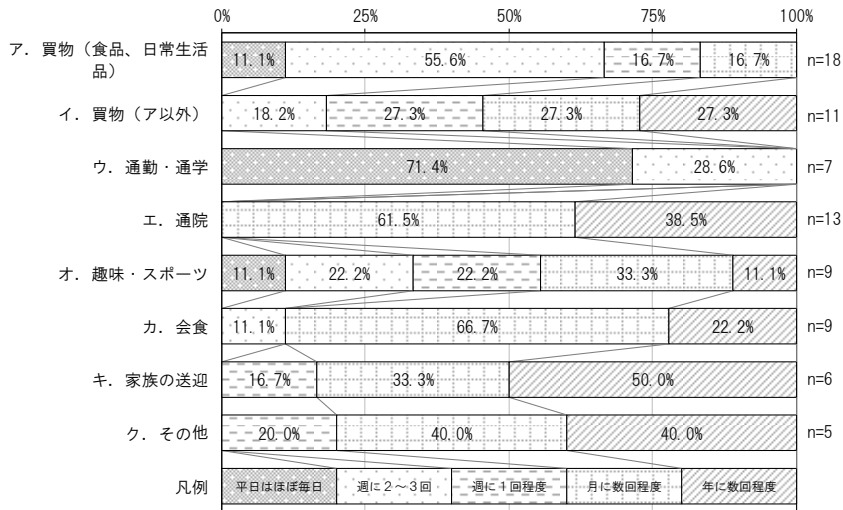
キ. 家族の送迎



ク. その他



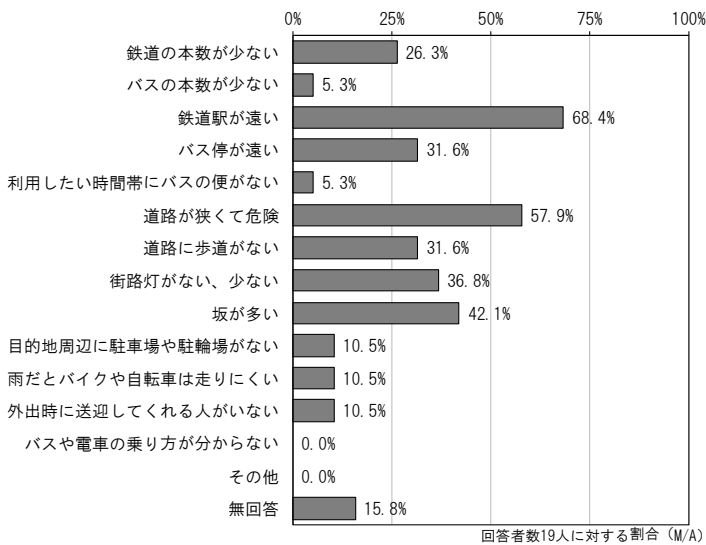
問10-C 外出頻度



普段交通でお困りのことについて

問11 交通に関して困っていること

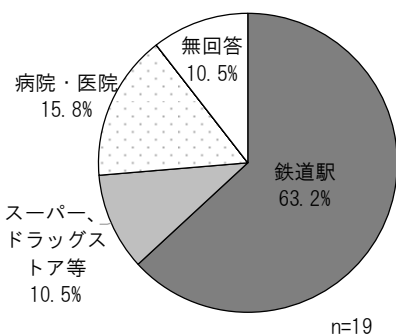
・「鉄道駅が遠い」が68.4%で最も指摘率が高く、次いで「道路が狭くて危険」57.9%、「坂が多い」42.1%の3つの指摘率が高い。  
 ・上位2つは第1回ワークショップのグループワーク結果と同じ傾向である。



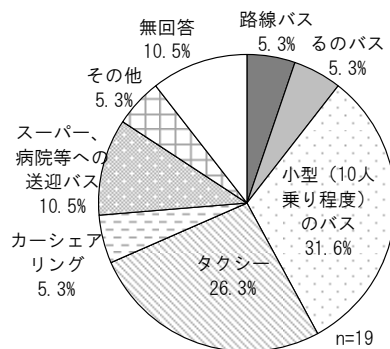
公共交通に対するご期待・ご要望

・公共交通で行きたいところは「鉄道駅」が63.2%で半数を超え、その際の交通としては「小型（10人乗り程度）のバス」が31.6%で最多となっている。

問12 公共交通で行きたいところ

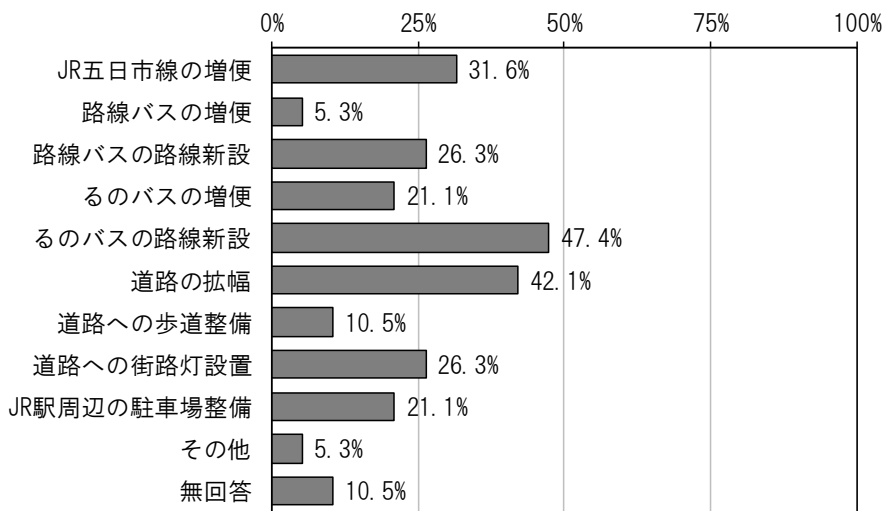


問13 問12の目的地へ行く交通



問 14 求められる交通整備

・「るのバスの路線新設」が 47.4%で最も指摘率が高く、次いで「道路の拡幅」42.1%、「JR 五日市線の増便」31.6%の指摘率が高い。

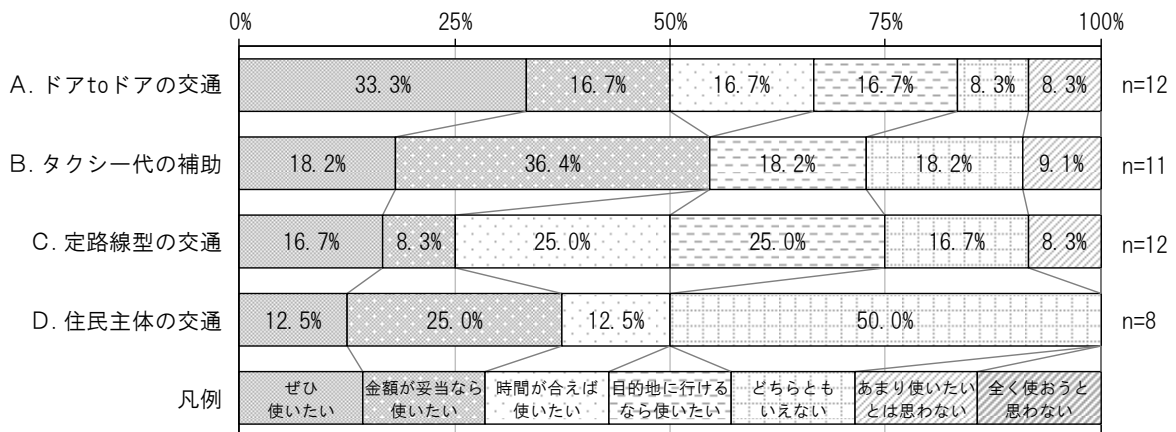


回答者数19人に対する割合 (M/A)

ワークショップで出た公共交通の方向性に対するご意見

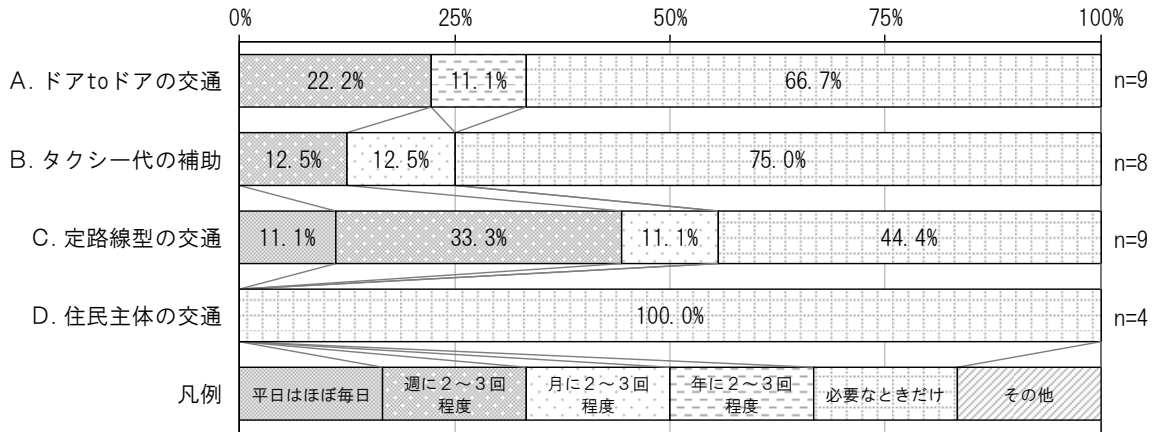
問 15 各公共交通サービス候補に対する利用意向

・「ぜひ使いたい」「金額が妥当なら使いたい」「時間が合えば使いたい」「目的地に行けるなら使いたい」を合わせて、「使いたい」とする割合は、いずれのサービス候補でも 50%を超える。  
 ・「使いたい」の割合が最も高いのは「A. ドア to ドアの交通」83.4%であり、次いで「C. 定路線型の交通」が 75.0%、「B. タクシー代の補助」が 72.8%で高い。  
 ・これらのうち、「ぜひ使いたい」とする割合が一番高いのも、「A. ドア to ドアの交通」の 33.3%である。



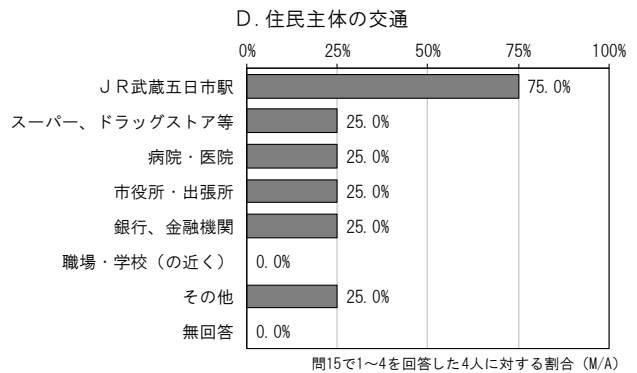
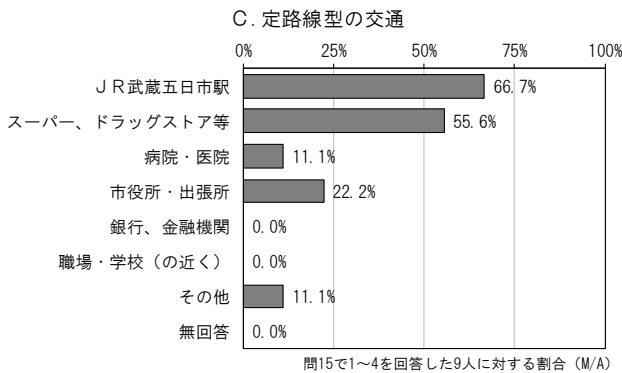
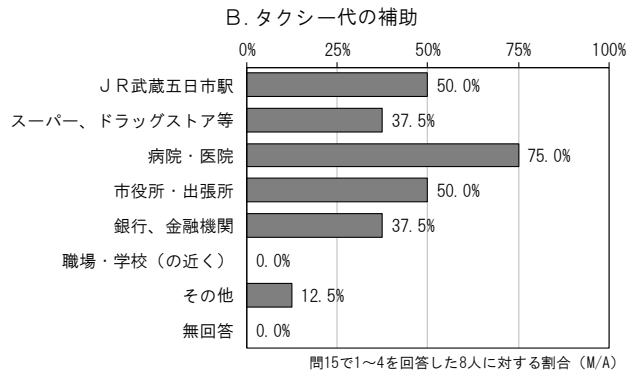
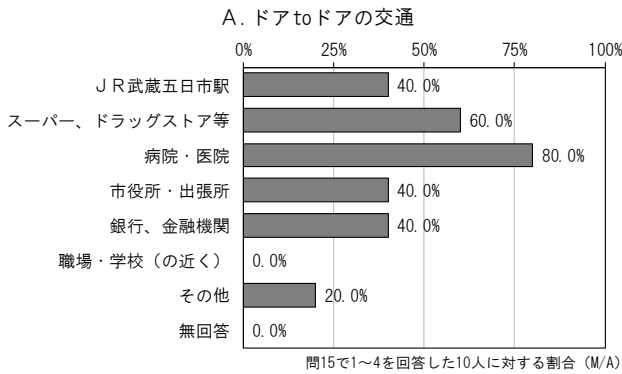
問 15-1 各公共交通サービス候補に対する利用頻度

- ・「C. 定路線型の交通」は、「週に2～3回程度」が33.3%であり、利用したい頻度も他に比べて高い。
- ・いずれのサービス候補においても、「平日はほぼ毎日」と回答した人はいなかった。



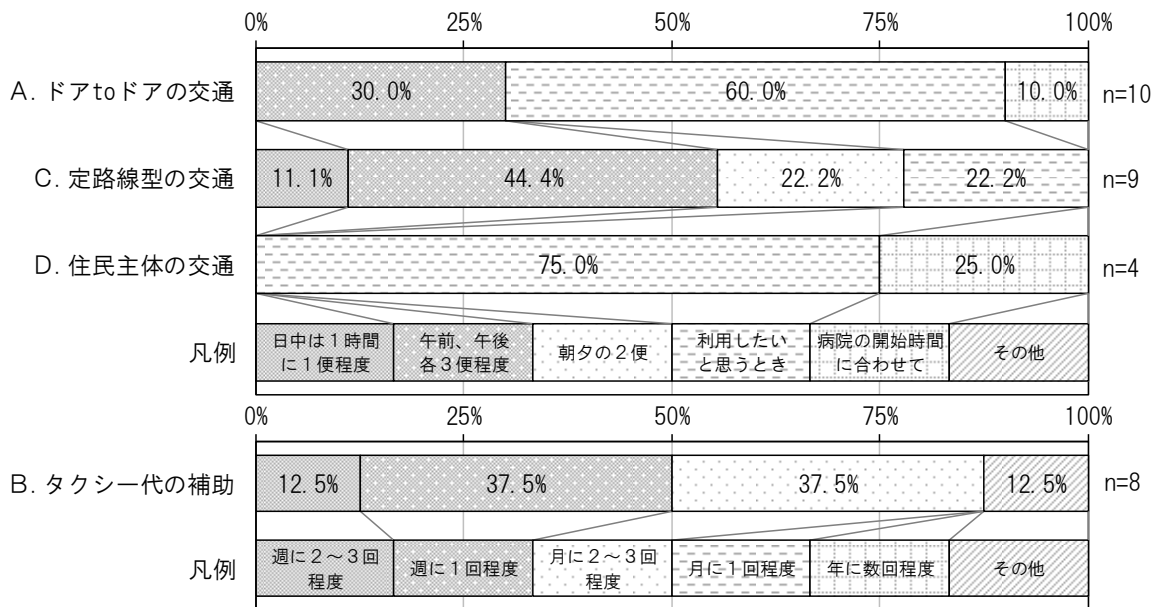
問 15-2 各公共交通サービス候補を使って行きたいところ

- ・「A. ドア to ドアの交通」「B. タクシー代の補助」は、「病院・医院」が最多となっており、「C. 定路線型の交通」「D. 住民主体の交通」は、「JR武蔵五日市駅」が最多となっている。
- ・「A. ドア to ドアの交通」「C. 定路線型の交通」では、「スーパー、ドラッグストア等」の割合も高い。



問 15-3 各公共交通サービス候補に求める運行頻度

- ・「C. 定路線型の交通」は、「日中は1時間に1便程度」が11.1%、「午前、午後各3便程度」が44.4%で、他のサービス候補と比べて求める運行頻度が高い。
- ・「A. ドア to ドアの交通」「D. 住民主体の交通」は、「利用したいと思うとき」が最も多い。
- ・「日中は1時間に1便程度」の回答があったのは「C. 定路線型の交通」のみで、他のサービス候補では回答がなかった。
- ・「B. タクシー代の補助」については他と選択肢が異なるため比較はできないが、「週に1回程度」が「月に2～3回程度」がともに37.5%で多い。



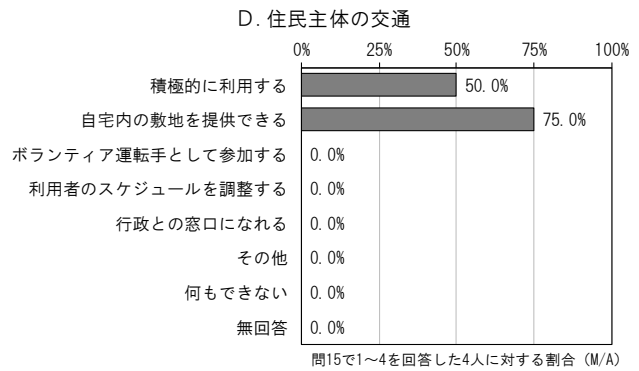
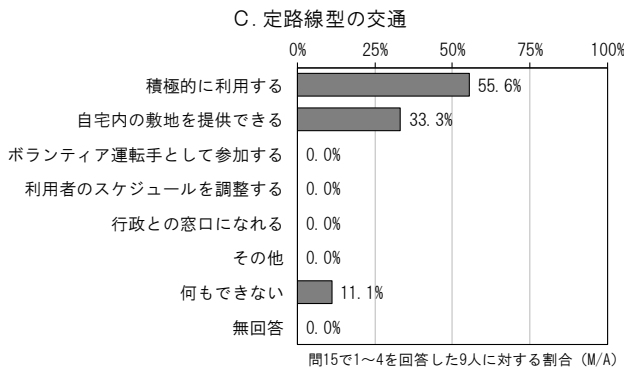
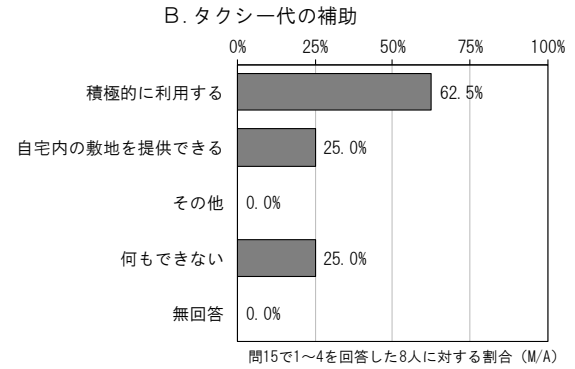
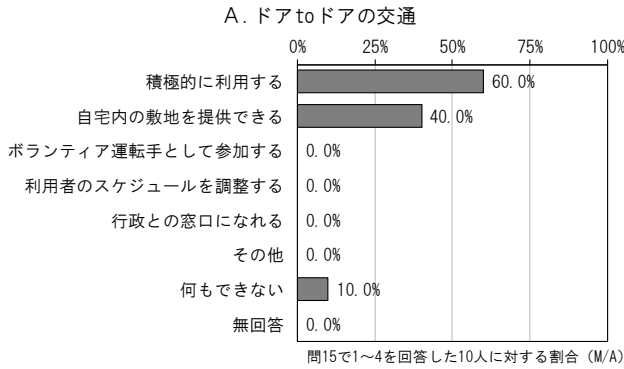
問 15-4 各公共交通サービス候補の料金設定

- ・各公共交通サービス候補の料金設定について平均を算出すると、「A. ドア to ドアの交通」407 円、「B. タクシー代の補助」633 円、「C. 定路線型の交通」269 円、「D. 住民主体の交通」367 円となった。

公共交通サービスの候補	ぜひ使いたい	条件付き			全希望者
		金額が妥当	に使用したい時間	ろ行にき行たいところ	
A. 必要なときに利用できるドアtoドアの交通	417	0	400	400	407
B. タクシー代の補助	1,000	600	0	500	633
C. 必要なときに運行する定路線型の交通	300	200	333	217	269
D. 住民主体の交通	500	500	100	0	367

問 15-5 各公共交通サービス候補に対する支援

・「A. 地区と駅とを結ぶシャトル便」～「C. 定路線型の交通」については、「積極的に利用する」が60%前後で最も多く、次いで「自宅内の敷地を提供できる」という回答が多い。  
 ・「D. 住民主体の交通」については、「自宅内の敷地を提供できる」という回答が75%で最も多いが、「ボランティア運転手として参加する」「利用者のスケジュールを調整する」等の回答はなかった。



問 15-6 各公共交通サービス候補を利用しない理由

・それぞれ1人の方からしか回答が得られなかったが、いずれのサービス候補についても、「自家用車で十分だから」という回答はなかった。  
 ・また、「D. 住民主体の交通」については、問 15 で「あまり使いたいとは思わない」「全く使おうと思わない」と回答した人がいなかったため、利用しない理由が挙げられていない。

